

孟 瑾 傅羽弘 李 欣 ◆ 主编

研究生日语教程

(修订本)



吉 林 大 学 出 版 社

责任编辑 / 刘子贵 封面设计 / 孙 群

ISBN 978-7-5601-2140-6



9 787560 121406 >

定价：30.00 元

研究生日语教程

(修订版)

顾 问 淀川 遑

主 编 孟 瑾 傅羽弘 李 欣

编 者 王晶株 李 欣 李春洁 陈云哲

孟 瑾 高金花 傅羽弘

吉林大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

研究生日语教程 / 孟瑾, 傅羽弘, 李欣主编. —2 版(修订本).

—长春: 吉林大学出版社, 2007. 8

ISBN 978-7-5601-2140-6

I. 研… II. ①孟…②傅…③李… III. 日语—研究生—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 137679 号

书名: 研究生日语教程(修订版)

作者: 孟瑾 傅羽弘 李欣 主编

责任编辑、责任校对: 刘子贵

吉林大学出版社出版、发行

开本: 787×1092 毫米 1/16

印张: 27.125

字数: 453 千字

ISBN 978-7-5601-2140-6

版权所有 翻印必究

社址: 长春市明德路 421 号 邮编: 130021

发行部电话: 0431-88499826

网址: <http://www.jlup.com.cn>

E-mail: jlup@mail.jlu.edu.cn

封面设计: 孙 群

长春永恒印业有限公司印刷

2001 年 9 月 第 2 版

2007 年 8 月 第 2 次印刷

定价: 30.00 元

前 言

随着教学改革的不深入，高校研究生教育也有了突飞猛进的发展，旨在培养应用型人才的在职人员申请硕士学位班（课程进修班）已在全国普及，并初具规模。在校硕士生、博士生的教育规模也逐年扩大。为了适应形势的发展，我们经过多年教学实践和经验总结，在对原教材作了部分修改和更正后，《研究生日语教程》（修订版）面世了。

该教程分三个部分：

第一部分从第1课至第10课，每课两篇文章，共计20篇文章。是以课程进修班为教学对象的教材。主要目标是达到在职攻读硕士学位的学生通过全国外语统一考试的水平。

第二部分从第11课至第28课，为在校硕士研究生用教材，共计18篇文章。这部分是硕士研究生必修的学位课程。主要目标是通过学习达到日本语能力测试（JPT）二级水平；全国日本水平考试（WSK）所要求的标准。

第三部分从29课至35课，是在校博士生必修学位课程，主要目的是在硕士生日语水平的基础上进一步提高日语水平，扩大阅读量。

该教材的特点是教学目的明确，内容系统，深入浅出，配套齐全。在第一部分中为完成由中级日语向高级日语的过渡，每课后都有详细的语法注释，所有例句都附有汉语译文，便于教学和学员自学。第二部分和第三部分中，为督促学生阅读日语原文，语法注释保持日语原文。在完成基础语法、词法释义的基础上增加了近义词、类义词的比较和语法方面关联词用法的注释，以提高学生辨词能力。在整体结构上，各教学单位可以根据本校研究生课程的配置以及课时要求，灵活调整精泛读的比例。

另外，根据教学进度，本教材在不同的阶段还编入了综合练习，以便对学生进行测试，及时调整教学进度。也可以做学生自测练习用。

吉林大学外语部日本专家淀川德教授和吉林大学外语学院院长宿久高教授对该教材的出版给予了热情的关心与指导，在此表示衷心的感谢。

对于本教材的编写如有错误和不当之处，希望同行们批评指正。

编者

2000年5月30日

原 序

孟瑾同志主编的《研究生日语教程》(综合本)即将问世,嘱我作序。作为从事日语教育的同行,我有幸先睹《教程》,收益颇多,并多有感想,草此为序。

自1978年恢复研究生招生制度以来,我国的研究生教育经历了起步、发展和不断完善的过程,呈现出学科多、层次全、水平高、规模大的良好局面。为适应社会主义市场经济发展和现代化建设的需要,培养了大量高层次的优秀人才。

21世纪国际间竞争的特点之一就是人才竞争。在研究生培养过程中,专业领域的拓展和研究固然重要,但研究生的外语知识、能力和素质将直接影响我国在国际竞争中的地位。因此,加大外语教学力度,编写好的外语教材,拓宽研究生的外语知识面,提高研究生的外语能力和素质,是研究生培养工作的一项极其重要的、迫在眉睫的任务。从这个意义上讲,孟瑾等同志集多年潜心教学之经验,倾注大量心血编写的《研究生日语教程》(综合本)恰恰体现了他们对研究生外语教育发展态势的整体关注和前瞻,确实难能可贵。

横观我国研究生教学的现状,就教材而言,多以临时选材应之,少有系统的、成型的固定教材面世。孟瑾等同志编写的这部教材,可谓适应新形势的杰作,可喜可贺。

本教材以在职申请硕士学位人员,在校硕士研究生,博士研究生三个层次为对象,三部分内容既各具特色,又浑然一体。编写目的明确,结构科学合理,内容系统丰富,解释深入浅出,程度循序渐进,形式灵活多样。编者考虑到学生的外语认知规律,在第一部分的语法解释中使用了汉语,例句附汉语译文,根据进度,在第二部分释意采用日语原文,在第三部分增加了词义辨析等内容。综合练习部分试题主、客观题搭配适度,有的放矢,目的性强,对提高学生日语水平大有裨益。以上种种,都是该教材的特点所在。

另,准确的解说和释义,足以窥见编者的中日文功底之一斑,也使该教材具备了较高的学术价值。对日语学科建设和研究生教学无疑具有积极的作用和指导意义,定会对我国的研究生日语教学做出积极的贡献。

宿久高

1998年6月20日

目 次

第一部分

第 1 課

文章 1 恩師…………… 1

文章 2 敬語…………… 1

第 2 課

文章 1 禅ブーム…………… 13

文章 2 祭り…………… 14

第 3 課

文章 1 めがね…………… 23

文章 2 サラリーマンの勉強会…………… 24

第 4 課

文章 1 中村さん…………… 29

文章 2 雪…………… 30

第 5 課

文章 1 身上相談…………… 40

文章 2 矛盾…………… 41

第 6 課

文章 1 喫茶店…………… 47

文章 2 パッチ・テスト…………… 48

第 7 課

文章 1 兵法…………… 54

文章 2 心安らかに空を仰ぎたい…………… 55

第 8 課

文章 1 捨てる神拾う神…………… 63

文章 2 嫌速嫌音…………… 65

第 9 課

文章 1 年中行事と信仰…………… 74

文章 2 故国の友への手紙…………… 75

第 10 課

文章 1 伴いを慕う心	82
文章 2 情けと法律	83
総合練習問題（一）	89
総合練習問題（二）	96

第二部分

第 11 課 日本人の質問	105
第 12 課 病院での出来事	113
第 13 課 知能と本能	124
第 14 課 外国人と身振り	131
第 15 課 日向	139
総合練習問題（三）	149
総合練習問題（四）	156
第 16 課 なぜ山に登るか	165
第 17 課 水の東西	174
第 18 課 おふくろの筆法	183
第 19 課 待つ	189
第 20 課 兄弟	195
総合練習問題（五）	204
総合練習問題（六）	211
第 21 課 鞆	220
第 22 課 「天声人語」選	227
第 23 課 雉の儀式	233
第 24 課 智恵子の空	238
第 25 課 南のバイオリンと二つの演歌	247
第 26 課 何でも見てやろう	253
第 27 課 旅について	260
第 28 課 陰影の美	268
総合練習問題（七）	273
総合練習問題（八）	281

第三部分

第 29 課 城の崎にて.....	292
第 30 課 エッフェル塔.....	299
第 31 課 身体に関する言い回し.....	306
第 32 課 日本人の知性.....	310
総合練習問題（九）.....	317
総合練習問題（十）.....	325
第 33 課 ひよこの眼.....	336
第 34 課 日本の風土.....	343
第 35 課 蚩.....	353
総合練習問題（十一）.....	358
総合練習問題（十二）.....	366
単語表索引.....	378
キーワード索引.....	409
練習問題の参考答案.....	419

第1課

文章Ⅰ 恩 師

先日、ある会合で、数年ぶりに、大学時代の恩師佐々木先生にお目にかかった。お目にかかって、はじめて、ずいぶんご無沙汰していたことに気がつき、赤面した。それにしても先生が、相変わらずお元気なのに驚きもし、喜びもした。会合の後で、会場の近所にある、ある喫茶店にお供し、同級生や、先輩、後輩などの話をして楽しい時間を過ごした。以前、先生はお酒がお好きだったので、そのことについてお伺いすると、今はもうお飲みにならないとのこと。昨年の夏、胃の手術を受けられて以来、絶対に召し上がらないことになさったとのことで、驚いてしまった。最後に正月には友人とお邪魔することをお約束して、お別れした。

最近、大学が世にあふれ、マス・プロ教育の害が大きな問題になっている。ある大学に通っていた友人の話によると、自分の先生の顔も知らずに単位を取ってしまったなどという人もあるそうだ。このように教師と学生との関係が希薄になっている現在、恩師と考えることのできる人を持つ私は、なんと幸福な人間であろうか。「恩師」という言葉が、教師と学生との間の封建的関係を意味すると言って嫌う人もいるそうだが、それよりも、教師と学生との関係の希薄なことのほうが、現在の日本の大学教育の持つ大きな問題ではあるまいか。

文章Ⅱ 敬 語

私たちがものを言うとき、一人言は別として、必ず話し相手があり、また、話題になる物事があります。その話し相手が目上の人であったり、話題の中に出てくる人が尊敬すべき人であったりすると、同じ意味のことを言うのにも、日本語では、いろいろと特別な言い方をします。これが敬語です。

次の会話でも分かるように、敬語には尊敬語、謙譲語、丁寧語があります。二人はそれらを上手に使い分けて話しています。

木村「昨日の日曜日、どこかへいらっしゃいましたか。」

上田「はい、昼から新宿へ買い物にまいりました。」

木村「そうですか。何をお買いになりましたか。」

上田「あした、先輩の田中さんの誕生日なので、お祝いに花瓶をお贈りしよう
と思って、買いました。」

木村「その方はきっと喜ばれるでしょうね。」

上田「ところで、先日、弟さんからお電話をいただきましたが、近く弟さんは
外国へ行かれるそうですね。」

木村「ニューヨークに新しい支店ができたので、転勤することになったと申し
ておりました。出発は来月五日だそうです。」

上田「ご出発の前に一度お目に掛かりたいものです。ニューヨークにはアメ
リカ人の友人がおりますので、紹介状を書いてさし上げましょう。」

木村「それはどうもありがとうございます。それでは、さっそく弟を伺わせま
すからよろしく願いいたします。」

上田「お待ちしております。」

上の会話には、いろいろな形の敬語が使われていますが、これらはどうい
う時に使うか、また、どのようにしてそれぞれの形を作るかを考えてみましょう。

尊敬語

これは、話し手が話題の人に対して、尊敬の気持ちを表す敬語です。話題の
人や、その人に属する物、事、その人の行為、状態について言う場合に用いま
す。例えば、「先生が外国へいらっしゃいます。」というのは、話題の人を「先
生」と呼び、その人の行為である「行く」を「いらっしゃる」と表現して、そ
の人に敬意を表しているのです。「あなたもいらっしゃいますか。」という場合
は、聞き手がそのまま話題の人になっています。「お子さんはお元気ですか。」

「お帽子をお預かりいたしましょう。」の「お子さん」「お元気」「お帽子」も尊
敬語です。尊敬語の主なものを挙げてみましょう。

一、人を呼ぶ言い方

木村さん、上田先生、田中様、山口殿、竹下氏…

二、人に属する物、事について言う言い方

お（考え）、おん（身）、ご（意見）…

例外もありますが、原則として「お」は和語に、「ご」は漢語につきます。

三、人の行為、状態について言う言い方

①特別な形

いらっしゃる	(行く、来る、いる)
おっしゃる	(言う)
なさる	(する)
くださる	(くれる)
めしあがる・あがる	(食べる・飲む)
ご覧になる	(見る)

②「お」「ご」＋動詞の連用形＋「になる」という形

お書きになる	(書く)
お読みになる	(読む)
ご安心になる	(安心する)
ご出発になる	(出発する)

③動詞に「れる」「られる」をつけるという形

書かれる	(書く)
起きられる	(起きる)
来られる	(来る)
入学される	(入学する)

注：③の形の「書かれる」は②の形の「お書きになる」にくらべて、敬意を表す程度が少し軽くなります。

以上のように尊敬語にはいくつかの型があり、それによって敬意の程度を表すことができるのです。

謙譲語

これは、話し手が聞き手に対して、自分自身、または話題になっている自分の身近な者、例えば、家族や親しい仲間などの行為を謙遜して言う言い方の敬語です。

①わたくしは来月、九州へ参る予定です。

②弟はあした出発すると申しております。

③先日、母が石田先生にお会いしました。

①の自分のことを「わたくし」と表現し、行くことを「参る」と謙遜した表

現をして、聞き手に敬意を表しています。この場合、話し手自身が話題の人になっています。②の場合も①と同じように、弟の行為「言う」を「申す」と謙遜して、聞き手に敬意を表しています。③については、話題の人「母」の行為を「お会いする」と謙遜して、母の相手である「先生」に敬意を表しています。謙譲語は話し手側（家族、仲間など）を話題の人にするときに使われる場合が多いので、尊敬語と取り違えないように、特に注意してはなさなければなりません。

一、人を呼ぶ言い方

わたくし、わたくしども、小生……

二、人の動作について言う言い方

- | | |
|----------|------------|
| ① おる | (いる) |
| まいる | (行く、来る) |
| 申す・申し上げる | (言う) |
| 差し上げる | (あげる) |
| いただく | (もらう) |
| 伺う | (訪ねる、質問する) |
| お目にかかる | (会う) |
| 拝見する | (見る) |
| いたす | (する) |
- ② 「お」「ご」＋動詞の連用形＋「する(いたす)」という形
- | | |
|----------------|--------|
| お知らせする・お知らせいたす | (知らせる) |
| お待ちする・お待ちいたす | (待つ) |
| ご連絡する・ご連絡いたす | (連絡する) |
| ご紹介する・ご紹介いたす | (紹介する) |

ただし、これは、自分あるいは自分の側に属する者の行為が相手に関係する場合だけに使える言い方です。

丁寧語

これは、話題の人の行為を尊敬して言い表わしたり、謙遜して言い表したりするのと違って、物事を丁寧に言うことで、相手に敬意を表す言葉です。また、物事について上品に、優しく言い表す場合にも用いられます。

- ①これが弟の写真です。
- ②わたくしの妹でございます。
- ③お寒い日ですね。
- ④この辺でよろしいでしょう。
- ⑤雨が降って参りました。
- ⑥準備ができております。
- ⑦これはどこで取れたお米ですか。
- ⑧この動物園には象もライオンもおります。
- ⑨何か変な音がいたしますよ。
- ⑩仙台には青葉城がございます。

上の文を見ても分かるように、丁寧語の多くは謙譲語から生まれてきているので、丁寧にする主体は自分側にある場合が多いと言えるでしょう。

以上、敬語について説明してきましたが、敬語は、時と場合によって使い分けないと、かえって相手に失礼になることもありますから、気をつけて話しましょう。

敬意を表すものとして、敬語はもちろんですが、静かな話し方、おだやかな表情、一生懸命に相手の話を聞く態度なども大切なものとなっています。

単語表

せんじつ〔先日〕	(名・副)	前些日子
かいごう〔会合〕	(名)	集会
すうねんぶりに〔数年ぶりに〕	(詞組)	隔了几年又……
おめにかかる〔お目にかかる〕	(詞組)	见面, 见到
ごぶさたする〔ご無沙汰する〕	(詞組)	好久未见
きがつく〔気がつく〕	(詞組)	察觉, 发现
せきめんする〔赤面する〕	(自サ)	脸红, 难为情
あいかわらず〔相変わらず〕	(副)	仍然, 老样子
おどろき〔驚き〕	(名)	吃惊, 惊讶
よろこび〔喜び〕	(名)	快乐, 高兴, 喜悦
きっさてん〔喫茶店〕	(名)	咖啡馆, 西式茶馆

おともする〔お供する〕	(詞組)	陪伴, 陪同
すごす〔過ごす〕	(他五)	度, 度过
ぜったいに〔絶対に〕	(副)	绝对
めしあがる〔召し上がる〕	(他五)	吃, 喝, 饮
さいごに〔最後に〕	(副)	最后
しょうがつ〔正月〕	(名)	新年, 正月
おじゃまする〔お邪魔する〕	(詞組)	打搅
おやくそくする〔お約束する〕	(詞組)	约好, 约定
おわかれする〔お別れする〕	(詞組)	分别, 离别
よ〔世〕	(名)	世, 世上
あふれる〔溢れる〕	(自下一)	溢, 满, 充满
マス・プロ教育〔mass production〕	(名)	用上大课的方式进行教育
かよう〔通う〕	(自五)	来, 往, 上(班、学)
たんい〔単位〕	(名)	学分
とる〔取る〕	(他五)	取, 取得, 拿
きはく〔希薄〕	(名・形動)	淡薄, 稀薄, 冷淡
こうふく〔幸福〕	(名・形動)	幸福
ほうけんてき〔封建的〕	(詞組)	封建的
かんけい〔関係〕	(名)	关系
いみする〔意味する〕	(他サ)	意味着, 带着
きらう〔嫌う〕	(他五)	讨厌, 厌恶
きはくか〔希薄化〕	(名)	淡薄化, 淡薄起来
ひとりごと〔一人言〕	(名)	自言自语
めうえ〔目上〕	(名)	上司, 长辈
そんけい〔尊敬〕	(名)	尊敬, 敬重
けんじょうご〔謙讓語〕	(名)	谦让语
ていねいご〔丁寧語〕	(名)	郑重语, 敬语, 客气说法
つかいわける〔使い分ける〕	(他下一)	分开使用, 适当地使用
してん〔支店〕	(名)	分店
てんきん〔転勤〕	(名)	转职, 调动工作

ぞくする〔属する〕	(自サ)	属, 属于
もちいる〔用いる〕	(他上一)	用, 使用, 采用
じぶんじしん〔自分自身〕	(名)	自己
したいしい〔親しい〕	(形)	亲近, 亲密
しょうせい〔小生〕	(名)	小生, 鄙人
もうしあげる〔申し上げる〕	(他下一)	说, 讲
はいけん〔拝見〕	(名・他サ)	看, 瞻仰
あおばじょう〔青葉城〕	(名)	(仙台市にある) 青叶城

キーワード

1. 「…ぶり」(接尾词)“情况, 样子”“隔了一段时间又……”。接在名词、动词连用形下, 表示样子、情况、时间的经过。在本课文中是“隔了一段时间又……”的意思。多用于个人的经历, 体验。

参考例文:

- ① 去年の夏、故郷へ行ってみた。十数年ぶりだったと思うが、田舎は変わって
いなかった。／去年夏天, 我回家一趟。虽说时隔十多年, 可家乡面貌依然如故。
- ② A: 「夕べ、お友達がいらっしゃったそうですね。」／听说昨晚您的朋友来了。
B: 「ええ、五年ぶりですから、話すことがたくさんあって、なかなか眠れ
ませんでしたよ。」／是的, 有五年没见了, 要说的话很多, 怎么也没能睡。
- ③ ずいぶん久しぶりですね、お元気ですか。／好久没见了, 你好吗?
- ④ 3年ぶりに便りをよこした。／时隔三年, 才寄来了信。

2. 「…てはじめて」“……之后, 才……”。

参考例文:

- ① 外国へ行ってはじめて、自分の国の良さが分かる。／到了外国, 才知道自
己国家的好处。
- ② 休暇を取ってはじめて、疲れていたことが分かった。／请了假以后, 才感
到自己身体的疲乏。
- ③ 相手が黙って立ち上がったのを見てはじめて、失礼なことを言ってしまった
のに気がついた。／看到对方默默地站了起来, 才发觉自己说了失礼的话。